



白島小学校だより

<http://www.hakushima-e.edu.city.hiroshima.jp/>

平成25年度

10月号

平成25年 9月30日

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、朝夕には、ひんやりとした秋気が心地よい季節となりました。厳しかった残暑も終わりをづけ、さわやかな風と青空が子どもたちを包んでくれています。運動にも勉強にもとてもよい季節です。

今月は、前期の終了、秋休みを挟んで、後期が始まる区切りの月です。教職員一同、もう一度、学校教育目標に立ち返り「よく考える子」「心の豊かな子」「たくましい子」の育成を目指して、地道に誠実に意欲的に、様々な取組を展開してまいります。今後とも、本校で学ぶ子どもたちのためにご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



1年生が、敬老会行事に参加しました

今年も1年生が白島地区敬老会行事に参加しました。たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんに詩「いるか」「ぞう」「かぞえうた」の群読と歌「やくそく」を聴いていただきました。1年生の一生懸命な姿に会場は大満足でした。最後は、おじいちゃん、おばあちゃんの「肩たたき」をしました。参加された方々に喜んでいただいただけでなく、子ども達にも温かい思いやりの心が育ったひとときでした。



かたたたきのときが、どきどきしました。もういっかいしてあげたです。よろこんでくれたからです。すこし、つよくたたきました。「いいよ。」といってくれました。 【1年生児童の絵日記より】

読書の秋です

「折々の遊ぶいとまはある人のいとまなしとて書よまぬかな」(本居宣長)

暇がある人も時間がないといって本を読まないものだという意味だそうです。昔も今と同じことが言われていたようです。テレビやゲームなどの楽しい遊びがあり、パソコンで簡単に情報が手に入るので、「読書離れ」が起きても不思議なことではありません。

しかし、人間模様を楽しみながら物語などをじっくり読んだり、事典などでとことん調べたりすることは、実に楽しいものです。本をじっくりと読むと、自分と違う世界、体験できない世界、自分と違う考えや生き方、思いもよらないすばらしい出会いもあり、想像力や感性なども育ちます。

学校では、読書ボランティアの方に来ていただいて読み聞かせを行ったり、図書室の環境を整備し、いろいろな本を紹介したりするな

ど、本との出会いを工夫した様々な取組を行っています。

今月は、「生活リズムカレンダー」の実施や希望の家庭で「家族でチャレンジメディアコントロール」の実施を予定しております。これらを機会に、読書の秋をご家庭でも応援してあげてください。